

平成26年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

<ul style="list-style-type: none"> ・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定 					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	
1 確かな学力	自主的な学習/学習習慣の定着	朝学習、再テストの実施	家庭学習を自主的に行っていますか。	行っている、だいたい行っていますが、1年74%、2年55%、3年67%(生徒)	→
	言語活動の充実	支部研修会への参加 校内授業研修会の実施	授業に集中できていますか。	集中している、だいたい集中しているで1年90%、2年91%、3年97%(生徒)	→
	読書の習慣化	新刊図書の呼びかけ ピフォアーフターの実施	1日あたりどれくらい読書をしますか。	30分以上で、23.1%(生徒)	→
2 豊かな心	規範意識の向上と行動化	非行防止教室の実施	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	思っている、どちらかというと思っているで91.3%(生徒)	→
	自律的判断を要する場面設定	生徒会から服装やペル着の呼びかけ	学校の規則を守っていますか。	守っている、どちらかというと守っているで84.0%(生徒)	→
	人権学習の再構築	人権学習	人権を大切にするために自ら行動できる力がついていている。	思っている、どちらかというと思っているで78.6%	→
3 健やかな体	規則正しい生活	規則正しい生活の呼びかけ 給食試食会を実施	毎日朝食を食べていますか。毎日同じくらいのじっくり寝て起きていますか。	朝食食べている、どちらかというと食べているで85.5%寝る起きるで同じく82.7%	→
	健康への意識高揚	保健だよりの発行	性教育講演会等の感想文 生徒委員会による健康チェック	健康への意識が高まった。	→
4 独自の取組	研修会の充実	校内授業研修会 総合育成支援教育研修会 教科会 等	定例化および自主研修の充実	基礎基本的な内容を確実に身につけさせることができたか。できた、ほぼできた86%(教職員)	→
	保幼小中高の連携	小中合同研修会 絵本の読み聞かせ 部活動交流	オープンスクールや絵本の読み聞かせ等の感想文他	中学校生活に対する抵抗感が減り、意欲や憧れを持つ生徒が増えた。	→
	保護者、地域との連携	参観、PTA活動、家庭教育講座、	家の人は、授業参観や行事に来ますか。	よく来る、時々くる73.3%(保護者)	→
	情報発信の充実	HP発信、学年学級だよりの発行	学校HPのアクセス数	アクセス27,900件(前年比107.2%)	

自己評価	
評価日	平成27年2月18日
評価者・組織	学校評価委員会
分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策
授業に対する集中力は概ね良好である。家庭学習については、向上がみられるものの、更なる取り組みが必要である。 読書についても習慣化できるように、また図書館の利用を促進していかたい。 学習の手引きを有効に活用していく。	家庭学習については、学習の手引きを積極的に活用すると共に、懇談会等で個別に働きかけ保護者にも協力を求める。 読書については、日頃から活字に親しめるように、校長室前や学年のフロアなど環境面を整備していく。
一人ひとりを大切にした人権教育を展開できている。 個別の指導案件に対しても、必要に応じて関係機関と連携しきちんと指導できている。	生徒会活動を活性化させ、生徒の中から二条中学校をよりよくしていこうという意識を高めると共に、自校に対する誇りを持たせる。
8割以上の生徒が規則正しい生活ができている。 保健だよりなどを通じて健康に対する意識も高まってきた。HPにもアップしている。 給食試食会の実施により食育の大切さを保護者に啓発することができ、給食率も上昇。	常に共通理解を深めながら組織として指導に当たっていく。
個々の生徒の背景や困りを正確に捉え、生徒理解の研修を積極的に行っていく。 保幼小中連携は、生徒会と児童会の連携に発展させていく。生徒の目標で成果の上がる形に進展させていく。	教職員同士の研修の場の保障していく。 幼小中連携は、生徒会と児童会の連携に発展させていく。生徒の目標で成果の上がる形に進展させていく。
とても生徒が落ち着いた環境の中で学校生活を送っている。 ホームページは、年々充実してきた。	お月見コンサート等、生徒が活躍できる場を増やし、地域をあげて支援していく。

学校名(京都市立二条中学校)

学校関係者評価	
評価日	平成27年3月11日
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
生徒が家庭学習しやすい環境をつくるよう、小中の連携と保護者の協力の呼びかけをしていく。	PTAや地生連等の団体から、教育活動がより充実するように支援をする。
学校以外の地域や関係機関とも連携できている。 保護者、地域、学校が一体となって生徒を育成することを再確認する。	パトロールや日頃の声かけを積極的に行う。 地域での情報を学校にもこまめに入れる。
文化祭等の行事の参観を通して、良好との評価である。 交通安全に対する意識を高める。	給食試食会等を継続し、保護者にも食育の重要性を呼びかける。
とても生徒が落ち着いた環境の中で学校生活を送っている。 ホームページは、年々充実してきた。	お月見コンサート等、生徒が活躍できる場を増やし、地域をあげて支援していく。

4 総括・次年度の課題

- ・わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業の推進。
- ・教育活動全體を通した道徳教育の推進。
- ・支援をする生徒に対してのきめ細やかな配慮と指導。
- ・校種間連携の推進。
- ・地域と連携した防災教育の充実。